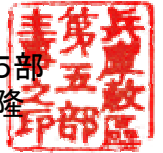




教区内関係者・ご理解者各位

平成16年10月24日
天台宗兵庫教区第5部
主事 吉川廣隆



兵庫県日高町赤崎地区(進美寺檀家)水害の状況

このたびの台風23号の円山川氾濫による、日高町赤崎地区(天台宗進美寺檀家)の被災に際しまして、各仏青役職及び理事様を中心とした支援の働きかけ誠に有難う御座います。ご説明が遅れておりますが第5部が理解している状況についてご報告させていただきます。

被害の状況

- 日高町赤崎地区(天台宗進美寺檀家)はマスコミで被害状況を詳しく取り上げられている豊岡市の隣町、円山川の上流になります。
- 今回の台風ではこの赤崎地区には円山川の水位が急激に上昇し堤防を越えた水と、豪雨による背後の山からの流水と重なり短時間の内に地区中が水に飲まれ、約60世帯のうち3分の2が床上以上、軒下までの浸水被害(10/20夜)に遭いました。
- 増水により辺り一帯はさながら湖の如くの状態となり、更に台風の強風により水面が大きく波立ち、建物の壁をはぎ、トタンをむしり取り浸水建物に大きな被害を与えました。
- 浸水が短時間で起こったことにより、民家から非難できなかった方もおられ、ヒタヒタ水位を上げてくる水を前に1階から2階に非難、更にタンスの上に避難、果ては天井を破って屋根裏に非難していた人も居られたのですが、豊岡市の堤防が決壊したことによって、この地区の増水は収まり、幸いにして一人の犠牲者も出さずに難を逃れました。
- 非難された方も時間が無かったせいか、殆どの方が身体一つで出られた格好で、浸水により家財道具の殆どは使用できなくなり、また、農作物は壊滅状態で農業地帯の赤崎地区にとつての経済的痛手も大きく思えます。

救援・非難の状況

- 支援物資の供給は日を追うごとに改善されつつありますが、物資にも制限があり一人当たりの支給量も取り決められた平均値しか渡っていない状況です。
- 当地方はこれから寒さが本格化することを考えると、毛布(薄手一人2枚)など支給された量などでは不十分な面もあります。
- 浸水被害に遭われた方々は日高町文化会館及び、近隣体育館などに避難され、進美寺様にも二世帯の方が非難されています。
- 幸い犠牲者が一人も出なかったこともあり現在、復旧作業は地元の方のみで対応しています。
- 電気・電話・水道・道路はほぼ復旧し、弁当の配給も一旦終了しています。
- 独居老人など親戚縁者が少ない人など、徐々に個人が置かれている立場の違いから物資・手伝い等の面で格差が生じ始めました。



被災の状況



水の勢いで倒れた建物



水によりトタンが剥がされる。2階まで浸水



被災家庭の使えなくなった日用品の山



昨日まで使っていた日用品の山



トタン板の下には土壁があったでしょうに



村の下手二階まで増水。深さ約5メートル。



一旦浮き上り、土台から外れた車庫。



土蔵に中間まで水が来ていた事が分かる。